



2024

【理念】昨日を反省し 今日を考え 明日に備える

【基本方針】

- 1 私達は、患者様の人権と意思を尊重し納得と同意に基づく患者様本位の医療を心がけます
- 2 私達は、地域住民の皆様様の健康維持増進に寄与し、安全で信頼を得る医療を実行します
- 3 私達は、日々研鑽し働きがいのある職場をつくり良質で高度の医療を目指し努力します
- 4 私達は、当院における診療機能を積極的に広報し、地域の医療機関、高齢者・福祉施設との連携を推進致します
- 5 私達は、院内情報を共有し、健全で安定した運営を 継続するため努力します

# 謹賀 新年

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、さわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、昨年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に對しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

令和6年になり、平成という年号がかなり昔の年号の様に感じられます。昭和であれば今年には99年目であり、昭和99年ともいえるとのことです。昭和から当たり前に感じていた日々の様々の事柄を維持することが、年を追う毎に困難になってきていると感じることがあります。地域医療も然りなのではないかと思えます。令和になり変化の必要性が強調され、変化の息吹は日本中の至る所に、実は見つけることが出来るのかもしれない。しかし、変化のための変化には価値は全くないと思えます。『地域での大切なこと』を守るために、社会情勢の変遷に合わせていかななくてはならないのも事実だと思えます。ですが、足元の大切なことは、守り固めて維持をしていかなければならないと思えます。良質な当たり前を維持できるように、職員一丸となって知恵を絞り努力をして、病院として地域の皆様様の健康と生活の質の維持向上に微力ながら貢献できるようにしていければと思えます。そのためにも、皆様方のご指導とご鞭撻を

何卒宜しくお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって幸多き一年となりますようにお祈り申し上げます。



医療法人社団三思会 東邦病院

院長 駒井太一

令和六年正月



## Topics

- ・ 新年のご挨拶 (院長、副院長)
- ・ 診療科のご案内
- ・ 外来診療担当医師一覧



# 新年のご挨拶



## 副院長 植木 嘉衛

新年あけましておめでとうございます。令和6年も皆様にとって実り多い年となりますよう祈念いたしております。

世界情勢も混とんとしており、医療を受けられない患者さんも世界には多く存在します。その一方で日本などの先進国では医療の高度化が進み、アルツハイマーの治療など今まで不可能と思われた疾患の治療も行われるようになっていきます。通常の診療でも医療は高度化しています。患者さんごとの適切な治療法の選択において専門的知識、疾患に対する十分な診療経験が求められています。質の高い診療が提供できるよう病院スタッフ全員で協力しながら令和6年も努力を継続していきます。

東邦病院には腎疾患、透析医療の専門医が多数勤務しており、これからも適切な診療が継続できるよう診療体制を整え、地域の医療に貢献できるよう努めて参ります。

今年も皆様のお役に立てるよう努めていきますのでよろしくお願いいたします。



## 副院長 細沼 賢一

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠に有難うございました。

コロナへの対応が始まって早4年となりますが、最近では感染対策も充実し、日々の診療はコロナ以前に近い状態になってきました。

私の担当である内視鏡診療についても、N95マスクの装着はこれまで同様で、この煩わしさはありますが、大腸内視鏡前に全例行っていたコロナ検査はなくなり、患者さんの負担は減らすことができました。内視鏡検査数自体もコロナ以前の水準まで戻ってきています。

入院患者さんと家族との面会はまだまだ制限があり、今冬はコロナ以外にインフルエンザも非常に多くなるなど、完全に元の診療体制には戻らず、油断できないことも多いですが、日々診療体制を見直し、地域の医療を少しでも充実させることができるよう、スタッフ一同努めてまいりますので、今後もよろしくお願いいたします。



# 診療科のご紹介

## 循環器内科



こまい たいち  
駒井 太一

- ・理事長・院長
- ・日本循環器学会循環器専門医
- ・日本心血管インターベンション治療学会認定医
- ・日本内科学会総合内科専門医・認定医
- ・認知症サポート医養成研修修了
- ・インフェクションコントロールドクター認定



さの ひろかず  
佐野 宏和

- ・循環器内科部長
- ・日本循環器学会循環器専門医
- ・日本心血管インターベンション治療学会認定医
- ・日本内科学会認定内科医



いじま たかふみ  
飯島 貴史

- ・循環器内科部長
- ・日本循環器学会循環器専門医
- ・日本内科学会総合内科専門医・認定医



うめやま あつし  
梅山 敦

- ・循環器内科部長
- ・日本循環器学会循環器専門医
- ・日本心血管インターベンション治療学会認定医
- ・日本内科学会総合内科専門医・認定医

当院循環器内科では、不安定狭心症、急性心筋梗塞、急性心不全、重症致死性不整脈などの急性疾患の救急治療と、弁膜症、心筋疾患、不整脈、大動脈疾患、肺血栓塞栓症等の診断・診療、その他に、徐脈性不整脈に対する体外式ペースメーカー移植術、入院診療での心臓リハビリを行っています。検査手段として、心電図、ホルター心電図、トレッドミル負荷心電図、ABI(血圧脈波検査)、心エコー図などの非侵襲的検査と、心臓カテーテル検査、電気生理学的検査などの侵襲的検査を用い、緊急時には24時間対応する体制で臨んでいます。また、侵襲的治療である、カテーテル治療にも注力しており、質が高く低侵襲な治療を行うように心がけています。局所麻酔にて橈骨動脈や遠位橈骨動脈から、ほぼ全てのPCI(冠動脈ステント留置術)を施行することにより、術中術後の快適性と安全性を高め、合併症のリスクを低下させる為にも、可能な限り時間を短縮して治療を完結するように心がけています。また、少量の造影剤での治療や放射線量の低下にも取り組んでいます。今後の増加が予想される心疾患に対する質の高い診療を、地域に根差して他の医療機関と連携を深めながら、地域の方から信頼感を得られる循環器診療に努めています。



心臓カテーテル室

## 消化器内科



あおき たかし  
青木 隆



いのうえ てるき  
井上 照基

- ・消化器内科部長
- ・日本内科学会認定内科医
- ・日本消化器病学会消化器病専門医
- ・日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
- ・日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医
- ・日本消化管学会胃腸科専門医
- ・緩和ケア研修会修了



いのうえ としえ  
井上 敏恵

- ・消化器内科部長
- ・日本内科学会認定内科医
- ・日本消化器病学会消化器病専門医
- ・日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医



こじま さり  
小島 沙里

当院消化器内科では、食道・胃、小腸、大腸などの消化管疾患と胆道・膵臓疾患を中心に診療しています。上部消化管では、最新の内視鏡を導入する事により、精度の高い診断に努め、患者さんに負担の少ない経鼻内視鏡検査も積極的に行っています。下部消化管では、全大腸の観察を行い、発見されたポリープや早期癌に対しては、ポリペクトミーや粘膜切除術などを行っています。また最近では、小病変に対して処置が簡易で合併症の少ないコールドポリペクトミーを用いる症例が増えています。胆膵領域では、内視鏡的逆行性膵管胆管造影(ERCP)を行い、急性胆管炎や急性膵炎など重症化すると致命的になる疾患に対しては、状況によって緊急処置も行っています。胆管結石では、巨大結石に対して内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術(EPLBD)、内視鏡的機械的破砕術(EML)などにて排石治療を行います。また、排石困難な症例や膵胆道癌などに対しては内視鏡的胆道ステント留置術(EBS)も行っています。複数の認定医、専門医が在籍し、質の高い医療を提供できるよう日々心掛けています。また、女性医師も常駐していることから若年女性など検査に抵抗のある方も受診しやすい環境が整っています。



内視鏡室